

日時：令和4年10月23日(日) 10:00～13:00

会場：滋賀県立男女共同参画センター G-NETしが

(近江八幡市鷹飼町80-4) ※新型コロナウイルスの感染状況に応じて、開催方法が変更される場合がございます。

内容：特別講演「認知症予防と地域支援-初期集中支援チーム-」

講師 山口晴保 先生

認知症介護研究・研修東京センター・センター長/群馬大学 名誉教授

圏域報告

甲賀圏域報告 野口勇樹 氏 水口医療介護センター  
「甲賀市の障害領域への取り組み」

東近江圏域報告 河島克彦 氏 東近江市地域包括支援センター  
「東近江市の取り組み」

参加費  
無 料

会場:先着50名  
Web:先着200名

応募締切  
9月30日

PT 研修ポイント

- ・生涯学習ポイント3
- ・士会指定事業  
(滋賀県士会のみ)

OT 研修ポイント

- ・生涯教育  
ポイント2

※定数に限りがございます。定数に達しましたら応募を終了とさせていただきます。

ご略歴

昭和27年に高崎で生まれ、天才といわれた……近所の子と一緒に遊び、普通に育った。中学校時代に成績がぐんぐん伸びた……わけではなく、身長がどんどん伸びたのは、身長6尺：182センチの父親譲り。Max181cmで父にわずかに及ばなかった身長は、レベル70に到達した現在、毎年1cm縮んでいく。大学は、受かった慶応大学電気工学科を棒に振り、単に自宅から近くで通えるという理由で群馬大学医学部に入学。卒業しても医師になる自信がなく、大学院で神経病理という脳切片の染め物業に4年間弟子入り。その後、神経内科に入局。教授が興味を持っていたアルツハイマー病の病理研究を始めた。以来30年間、アルツハイマー病の成り立ちを知ろうと、脳切片を染め続けた。身につけた脳切片の染め物の業がここで活かされ、数々の英文論文を書いたのである。こんな脳病理学者が転向し、認知症の実践医療やケアに取り組んでいる。医師人生は、脳を顕微鏡で調べる病理に始まり、神経内科で脳がダメージを受けると出現する症状を学び、認知症の脳活性化リハビリテーション5原則を売り出しYouTubeにも出演。最近「認知症ポジティブ」を特売中。

私からの次世代へのメッセージ

- ①ポジティブ感情を増やそう
- ②仕事に「夢中になれること」「生きがい」を見いだそう
- ③仲良し・仲間をつくらう
- ④自分の価値観を持ち、Going my way! これで皆さん幸せな人生です。きっと、いや、たぶん。



山口晴保 先生



参加登録

下記QRコードの会場もしくはWebの参加希望の方にアクセスの上、ご登録をお願いします。



会場参加登録



Web参加登録

研修事務局

市立野洲病院 リハビリテーション課  
(野洲市小篠原1094)

連絡先：RehabilitationUnit@yasu-hp.jp@spam  
※送信の際は@spam以下を削除してください。  
担当：森智子